

エコゲノミクスによる 海洋および島嶼生態学研究の新展開

平成27年度 取りまとめワークショップ

*** 参加無料 * 申込不要**

日時:平成28年3月7日(月) 13:30-16:30

場所:琉球大学50周年記念館多目的交流ラウンジ(2階)

次世代シーケンサーを用いたゲノミクス研究の戦略ー
メタ16S解析とRAD-Seq法を例に

木村 亮介・伊藤 毅(大学院医学研究科)



エコゲノミクスによるサンゴ研究:サンゴの病気と局所適応

山城 秀之・酒井 一彦(熱帯生物圏研究センター)

イカの系統と分布域から探る認知能力と社会性の進化

杉本 親要(大学院理工学研究科)・池田 譲(理学部)



分子マーカーを用いた南西諸島における

外来昆虫の移動経路推定

立田 晴記(農学部)

シロオビアゲハ擬態率の島嶼間多様性:

次世代シーケンサーを用いたPCR-Seqによる
選択的要因と中立的要因の評価に向けて



鶴井香織(戦略的研究プロジェクトセンター)・辻瑞樹・立田晴記(農学部)・

加藤三步(鹿児島大学大学院連合農学)・加藤絵美(農学部)・

木村亮介(大学院医学研究科)

ヤモリの種認知・種分化研究に向けた分化・分散史の解明

戸田 守(熱帯生物圏研究センター)

多様な時空間・自然史情報を統合した

生物多様性変動の研究:東アジア島嶼の

木本属多様性の歴史動態

久保田康裕(理学部)

